

いつまでも自分らしく 暮らすために

介護予防・日常生活支援総合事業

『介護予防・日常生活支援総合事業』とは？

団塊の世代の方が75歳以上になる2025年に向けて、高齢者のみの世帯や認知症の高齢者の更なる増加が予想されます。

このままだと介護保険料の上昇、担い手不足といった課題が深刻化します。これからは、**高齢者自身も自らの能力を最大限に活かして、できるだけ要介護状態にならないよう、介護予防に取り組むことが大切です。**北九州市では、高齢者の「介護予防」「日常生活支援」を目的とした「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施しています。

